

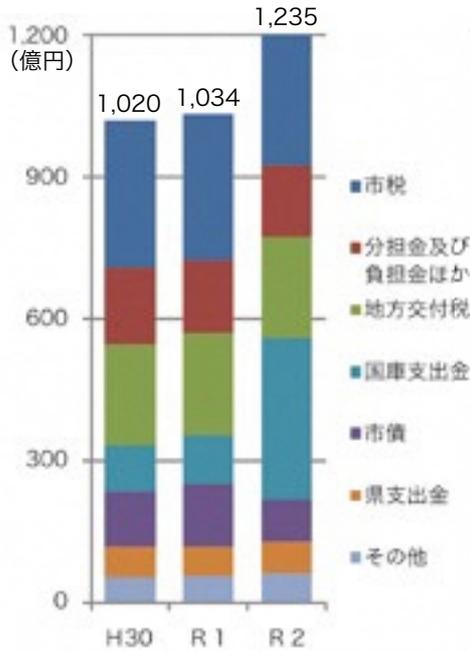
認定など32議案を審議

施策の成果

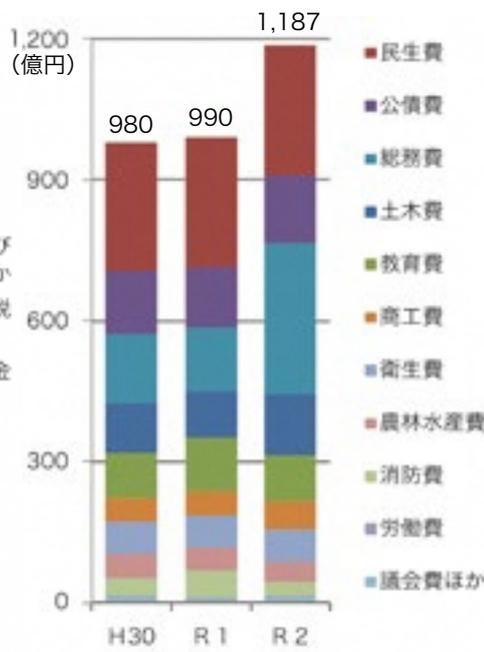
- 9月1日～2日（本会議） 発議案の採決（1件）
市長による提案説明、総括質疑（8人）
- 9月3日～15日（委員会） 4 常任委員会の審査
- 9月16日（本会議・委員会）
追加議案の市長提案説明、総括質疑（1人）、
3 常任委員会の審査、追加議案の採決（1件）
- 9月17日～24日（本会議） 一般質問（25人）
- 9月28日（本会議） 討論（8人）、採決（30件）
議案と審議結果については9ページをご覧ください。

■決算額（一般会計）の推移■

■ 歳入



■ 歳出



令和2年度は、新型コロナウイルス感染症や大雪への対応などにより、合計13回にもわたる、過去に例を見ない累次の補正予算が編成された一年となりました。

総括質疑

総括質疑は、議案に対する概要と疑問点を説明するために行われます。今定例会では、輝、公明党、創風、市民クラブ、みらい、日本共産党議員団、会派に属さない議員（安田議員、宮越議員）が総括質疑を行いました。

新型コロナウイルス対応 取組の状況と成果は？

問／新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止、市民生活への支援、地域経済への支援に資する取組の成果はどうか。

答／新型コロナウイルス感染症の拡大防止をはじめ、市民生活や市内経済を支えるため、国等の制度に基づく取組や市独自の制度による給付金の支給、事業活動継続のための助成等、様々な支援策を講じてきました。また、これらの取組は、市民や事業者の皆さんから意見を聞く中で見直しを行い、総合相談窓口では相談をしつかりと受け止め、必要な支援につなげることで安心な生活の確保等ができたと考えている。

移住支援の取組 成果と今後の見通しは？

問／移住支援の取組の成果をどう分析し、今後の移住についての見通しをどう考えているか。

答／令和2年度は当市の支援制度を利用して41世帯67人の方が移住された。コロナ禍を受け、新たにオンライン相談等に取り組んだ結果、8世帯16人の方が当市に移住され、市の情報発信や相談対応が移住を検討している方々の支援につながったと考えている。コロナ禍において、東京都の人口増加のペースが鈍化する中、東京都の隣接3県で人口が増え、42道府県の人口が減る状況であり、当市への移住者の大幅な増加は一朝一夕では困難と認識している。